

誰一人取り残さない、地域ぐるみの子育て環境を作る事業

【事業費総額 4,062 千円（WAM 助成金 3,750 千円）】



子どもたちの笑顔があふれるイベント



出張講座の様子

団体設立経緯

「子どもの笑顔が未来をつくる」を理念として、平成 27 年の団体設立以来、子育て家庭への様々な支援を実施しています。

当団体が拠点を置く日本一大きな自治体である高山市は、中心部から離れた点在する子育て家庭が孤立してしまいやすいという地域特有の課題がある中、「誰一人取り残さない 地域ぐるみの子育て支援環境をつくる」ことを目標に「ふれあい」と「つながり」を大切にした事業を実施しました。

事業実施内容

新型コロナウイルスが収束をみせ、事業実施に与える影響が少なくなった中、困難を抱えた子育て家庭へのアウトリーチや子育て家庭同士の交流などに重きを置いて事業を計画しました。

宅食を通じた訪問支援事業では、単なる宅食事業とならないよう、訪問家庭との関係性を構築しながら相談支援を実施し、相談内容によっては必要に応じて専門機関につなげることができました。

カフェやイベントは、わらべうたの会のみで開催するのではなく、子育てに対する想いを有する他団体との共催とすることで、地域ぐるみでの子育て支援への関心・理解がより深まりました。

事業成果

宅食を通じた訪問支援事業では、延べ 615 軒の子育て家庭に 1,904 食のお弁当を配達でき、その活動は地元紙にも掲載されました。また、各事業の実施にあたっては、スタッフ全員でのミーティングを大切にしたことにより、スタッフのスキルアップにつながり、支援対象者のニーズに沿った質の高い支援を実施することができました。

同事業に対する評価

長年子育て支援に携わってきた団体であり、明確な理念、目的に基づいて活動されている点や、地域他団体との連携により市内の子育て支援の社会機運を高めることに貢献した点を高く評価しています。

人材育成を含め、さらなる連携、協働を図り、地域全体の子育て支援の活性化につなげていただくことを期待しています。

特定非営利活動法人
飛騨高山わらべうたの会
(岐阜県高山市)



U R L <https://hidawarabe.org>